



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 株式会社 エージーピー

上場取引所 東

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日岡 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 悦朗

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,797	8.3	493	△6.9	494	△5.4	331	22.5
2019年3月期第2四半期	6,279	4.1	529	0.1	523	0.6	270	△18.8

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 322百万円 (△22.2%) 2019年3月期第2四半期 413百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	23.80	—
2019年3月期第2四半期	19.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,653	9,319	68.3
2019年3月期	13,675	9,123	66.7

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 9,319百万円 2019年3月期 9,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	7.1	1,300	△4.2	1,250	△7.6	770	△12.3	55.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,950,000 株	2019年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,062 株	2019年3月期	2,062 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,947,938 株	2019年3月期2Q	13,947,942 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等により企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。

一方で海外経済の不確実性や、通商問題の影響等に加え、原油価格上昇も懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

航空業界では、引き続き訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しておりますが、日韓情勢の影響等により、一部の地域において減便がみられました。

このような状況下における当社業績は、主力事業である動力事業を柱に堅調に推移しており、売上高合計は67億97百万円と前年同期比5億18百万円（8.3%）の増収となりました。

営業費用につきましては、原材料費の増加と適正な人員配置による労務費の増加により、63億4百万円と前年同期比5億54百万円（9.7%）の増加となりました。

以上により、営業利益は4億93百万円と前年同期比36百万円（6.9%）の減益、経常利益は4億94百万円と前年同期比28百万円（5.4%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額が増加していた反動により、3億31百万円と前年同期比60百万円（22.5%）の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### ① 動力事業

航空需要拡大と中部空港での事業開始に加え、使用時間の増加、A380就航増等により、売上高は30億61百万円と前年同期比3億11百万円（11.3%）の増収となりました。

セグメント利益は、増収による原材料費の増加や、中部空港での設備賃借料が増加したものの、7億40百万円と前年同期比1億87百万円（33.9%）の増益となりました。

#### ② 整備事業

関西空港において旅客手荷物搬送設備の更新工事に係わる別途契約業務の受注減や、中部空港において動力事業を展開したことに伴い、動力設備保守契約が減少した一方で、関西空港の施設設備保守の別途契約工事が増加したこと等により、売上高は24億20百万円と前年同期比30百万円（1.3%）の増収となりました。

セグメント利益は、原材料費や労務費の増加により、2億27百万円と前年同期比1億17百万円（34.2%）の減益となりました。

#### ③ 付帯事業

フードカート販売が減少した一方で、中部空港向けパッセンジャーボーディンググループ（PBR）の販売や、大阪でのG20開催時にウォークスルー型危険物検査装置の販売及びレンタルを行ったこと等により、売上高は13億14百万円と前年同期比1億75百万円（15.4%）の増収となりました。

セグメント利益は、原材料費や労務費の増加等により、9百万円と前年同期比53百万円（84.3%）の減益となりました。

	売上高			セグメント利益		
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)
動力事業	2,750	3,061	111.3	553	740	133.9
整備事業	2,390	2,420	101.3	345	227	65.8
付帯事業	1,139	1,314	115.4	63	9	15.7
合計	6,279	6,797	108.3	961	977	101.7
全社費用*				431	484	112.3
営業利益				529	493	93.1

\*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比1億9百万円（1.6%）減少の68億93百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が7億6百万円減少し、現金及び預金が4億4百万円、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が1億27百万円、前払費用が64百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比87百万円（1.3%）増加の67億60百万円となりました。これは、主に有形固定資産が70百万円、投資その他の資産が12百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前期末比21百万円（0.2%）減少の136億53百万円となりました。

### (負債)

流動負債・固定負債は、前期末比2億18百万円（4.8%）減少の43億34百万円となりました。これは、営業未払金が2億4百万円、流動負債・固定負債を合算した借入金が1億51百万円減少し、未払法人税等が18百万円、未払金が30百万円、未払費用が43百万円増加したこと等によります。

### (純資産)

純資産合計は、前期末比1億96百万円（2.2%）増加の93億19百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が2億6百万円増加したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におきましては、ほぼ計画通りに推移しておりますので、2019年5月13日に発表しました通期業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,424,772	3,829,071
受取手形及び営業未収入金	2,462,021	1,755,220
電子記録債権	—	4,359
商品及び製品	91,088	107,374
仕掛品	55,946	233,177
原材料及び貯蔵品	753,034	687,501
前払費用	173,741	238,671
その他	42,309	37,976
貸倒引当金	△89	△49
流動資産合計	7,002,824	6,893,302
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	10,794,877	10,852,313
減価償却累計額	△8,764,714	△8,878,294
建物及び構築物（純額）	2,030,163	1,974,018
機械装置及び運搬具	10,196,763	10,391,633
減価償却累計額	△7,610,661	△7,763,441
機械装置及び運搬具（純額）	2,586,101	2,628,192
土地	110,608	110,608
リース資産	94,096	81,911
減価償却累計額	△79,829	△76,648
リース資産（純額）	14,267	5,263
建設仮勘定	247,696	344,238
その他	575,261	582,414
減価償却累計額	△510,442	△520,243
その他（純額）	64,818	62,171
有形固定資産合計	5,053,655	5,124,491
<b>無形固定資産</b>		
特許権	6,068	5,492
ソフトウェア	58,673	53,908
ソフトウェア仮勘定	14,050	23,270
その他	10,937	10,809
無形固定資産合計	89,729	93,479
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	283,548	259,699
繰延税金資産	793,625	825,675
敷金及び保証金	197,163	197,853
長期前払費用	20,063	17,025
退職給付に係る資産	232,858	239,986
その他	2,145	2,145
投資その他の資産合計	1,529,404	1,542,386
固定資産合計	6,672,789	6,760,357
資産合計	13,675,614	13,653,660

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	792,309	587,360
1年内返済予定の長期借入金	250,364	168,364
リース債務	12,926	4,432
未払法人税等	191,673	209,728
未払消費税等	64,419	51,550
未払金	158,971	189,272
未払費用	611,254	654,535
その他	44,730	114,906
流動負債合計	2,126,648	1,980,149
固定負債		
長期借入金	292,390	222,708
リース債務	2,655	1,296
製品保証引当金	6,697	5,936
退職給付に係る負債	2,046,297	2,046,245
資産除去債務	77,763	77,681
その他	152	152
固定負債合計	2,425,957	2,354,019
負債合計	4,552,605	4,334,168
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	6,985,096	7,191,479
自己株式	△773	△773
株主資本合計	9,137,772	9,344,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,283	38,897
為替換算調整勘定	755	1,542
退職給付に係る調整累計額	△73,803	△65,104
その他の包括利益累計額合計	△14,764	△24,664
純資産合計	9,123,008	9,319,491
負債純資産合計	13,675,614	13,653,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,279,404	6,797,452
売上原価	5,261,924	5,689,623
売上総利益	1,017,480	1,107,828
販売費及び一般管理費	487,531	614,666
営業利益	529,948	493,161
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	2,935	3,130
保険配当金	882	489
保険事務手数料	493	489
持分法による投資利益	—	4,093
受取補償金	1,508	3,700
その他	1,863	640
営業外収益合計	7,699	12,560
営業外費用		
支払利息	4,117	2,064
為替差損	20	7,333
持分法による投資損失	8,631	—
その他	1,684	1,429
営業外費用合計	14,454	10,827
経常利益	523,194	494,894
特別利益		
債務免除益	138,986	—
特別利益合計	138,986	—
特別損失		
固定資産除却損	18,224	7,893
災害による損失	3,103	—
その他	393	—
特別損失合計	21,722	7,893
税金等調整前四半期純利益	640,459	487,000
法人税、住民税及び事業税	168,931	182,419
法人税等調整額	62,913	△27,334
法人税等合計	231,845	155,085
四半期純利益	408,614	331,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	137,677	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,936	331,914

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	408,614	331,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,242	△19,386
為替換算調整勘定	1,200	787
退職給付に係る調整額	10,248	8,699
その他の包括利益合計	5,206	△9,900
四半期包括利益	413,820	322,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,142	322,014
非支配株主に係る四半期包括利益	137,677	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自2018年4月1日 至2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	640,459	487,000
減価償却費	366,018	350,423
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	△39
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△618	△761
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△3,730	△1,608
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△7,265	6,966
受取利息及び受取配当金	△2,952	△3,146
支払利息	4,117	2,064
災害損失	3,103	—
債務免除益	△138,986	—
持分法による投資損益（△は益）	8,631	△4,093
有形固定資産除却損	18,224	7,893
売上債権の増減額（△は増加）	621,906	702,484
たな卸資産の増減額（△は増加）	△191,257	△127,984
仕入債務の増減額（△は減少）	△220,164	△204,948
未収消費税等の増減額（△は増加）	△4,345	3,771
未払消費税等の増減額（△は減少）	△28,803	△13,397
その他	△131,650	24,486
小計	932,685	1,229,111
利息及び配当金の受取額	2,952	3,146
利息の支払額	△3,135	△2,349
法人税等の支払額	△253,947	△137,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	678,555	1,092,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△805,074	△368,739
無形固定資産の取得による支出	△25,150	△13,979
有形固定資産の除却による支出	△21,543	△13,410
敷金及び保証金の差入による支出	△4,750	△9,184
敷金及び保証金の回収による収入	4,916	8,504
その他	△313	△522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851,914	△397,331
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△167,807	△151,682
配当金の支払額	△139,480	△125,475
リース債務の返済による支出	△12,346	△7,606
自己株式の取得による支出	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,638	△284,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△6,265
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△492,997	404,298
現金及び現金同等物の期首残高	3,673,623	3,424,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,180,626	3,829,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	2,750,069	2,390,104	1,139,230	6,279,404
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,402	117	91,262	105,782
計	2,764,472	2,390,221	1,230,492	6,385,186
セグメント利益	553,164	345,063	63,073	961,301

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	961,301
全社費用(注)	△431,353
四半期連結損益計算書の営業利益	529,948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	3,061,876	2,420,714	1,314,860	6,797,452
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	708	94	113,451	114,255
計	3,062,585	2,420,809	1,428,312	6,911,707
セグメント利益	740,660	227,186	9,915	977,761

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	977,761
全社費用(注)	△484,600
四半期連結損益計算書の営業利益	493,161

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。